

H30 議会報告と町民との意見交換会

総括報告書



平成 31 年 3 月
芽 室 町 議 会

目次

■PTAとの意見交換会.....	4
■団体との意見交換会	21
■高校生との意見交換会.....	30
■議会発！未来フォーラムⅣ	42

開催状況等

	団 体 名	開 催 日	開 催 場 所	参加数	発言数
1	芽室小学校	11 月 8 日 (木) 19:30～21:00	学校 会議室	11	16 点
2	芽室西中学校	11 月 15 日 (木) 19:00～21:00	学校 第 1 会議室	8	20 点
3	芽室中学校	11 月 20 日 (火) 19:30～21:00	学校 3 年 D 組教室	11	13 点
4	芽室南小学校	11 月 21 日 (水) 19:00～21:00	学校 会議室	15	24 点
5	上美生小・中学校	11 月 26 日 (月) 19:00～21:00	上美生小学校図書室	17	24 点
6	芽室西小学校	12 月 11 日 (火) 19:00～21:00	学校 家庭科室	14	27 点
	6 校	6 日	6 会場	76 人	124 点
7	公立芽室病院をみんなで 支える会 (厚生文教)	11 月 16 日 (金) 18:00～19:30	めむろーどセミナー室	16	5 点
	1 団体	1 日	1 会場	16 人	5 点
8	芽室高校 新聞局・生徒会	12 月 19 日 (水) 16:00～18:00	芽室高校 講義室	19	41 点
9	白樺学園高校	2 月 6 日 (水)・ 7 日 (木) 12:40～14:30	白樺学園高校 1 学年 A～D 組	129	133 点
	2 校	2 日	5 会場	148 人	174 点
10	未来フォーラムⅣ	2 月 2 日 (土) 14:00～17:00	中央公民館 2F 講堂	66 人	1 点
	1 フォーラム	1 日	1 会場	66 人	1 点
	合計	10 日	13 会場	306 人	304 点

発言等の内訳（PTA＋団体＋高校生）

大分類	所管委	内 容
A 議会 4 項目	議会運営 4 項目	1 議会だよりについて 3 2 フォーラムについて 1 3 意見交換会について 2 4 まちづくりについて 1
B 総務・行財政 6 項目	総務経済 委 6 項目	1 スクールバス（交通手段としての）について 7 2 農村地域公共交通について 8 3 交通安全について 3 4 災害対応について 44 5 ふるさと納税について 1 6 地域おこし協力隊について 4
C 教育・文化 10 項目	厚生文教 委 14 項目	1 学校のインターネット環境整備について 1 2 クラス編成について 3 3 コミュニティスクールについて 2 4 学習環境・学校配置計画について 10 5 施設環境・安全対策について 10 6 生活習慣について 1 7 通学路について 3 8 町営プールについて 6 9 社会体育施設全体について 7 10 総合体育館について 1
D 生活・環境 1 項目		1 ごみ処理場について 133（※仮定の議論）
E 健康・医療・ 福祉 3 項目		1 公立芽室病院について 29 2 子ども医療費について 5 3 予防接種について 1
F 産業・経済 3 項目	総務経済 委 4 項目	1 観光振興について 1 2 サイクルツーリズムについて 2 3 新嵐山荘・スカイパークについて 13
G 建設・都市 計画 1 項目		1 道路整備について 2
計 28 項目		304 点

■PTAとの意見交換会

1 芽室小学校 P T A

日 時：	平成 30 年 11 月 8 日（木）19:30～21:00
場 所：	芽室小学校会議室
出席者数：	11 人
出席議員：	正村、高橋、梶澤、寺町



2 芽室西中学校 P T A

日 時：	平成 30 年 11 月 15 日（木曜）19:00～21:00
場 所：	芽室西中学校第 1 会議室
出席者数：	8 人
出席議員：	早苗・立川・柴田・西尾・猪野毛



3 芽室中学校 P T A

日 時：	平成 30 年 11 月 20 日（火） 19:30～21:00
場 所：	芽室中学校 3 年 D 組教室
出席者数：	11 人
出席議員：	正村、高橋、梶澤、鈴木



4 芽室南小学校 P T A

日 時：	平成 30 年 11 月 21 日（水） 19:00～21:00
場 所：	芽室南小学校会議室
出席者数：	15 人
出席議員：	中野、梅津、常通、中村、渡辺



5 上美生小中学校 P T A

日 時：	平成 30 年 11 月 26 日（月）19:00～21:00
場 所：	上美生小学校図書室
出席者数：	17 人
出席議員：	中野、梅津、常通、中村、渡辺



6 芽室西小学校 P T A

日 時：	平成 30 年 12 月 11 日（火曜）19:00～21:00
場 所：	芽室西小学校家庭科室
出席者数：	14 人
出席議員：	早苗、柴田、西尾、立川、猪野毛



6 P T Aとの意見交換会 議論内容

※対応例：①委員会に報告、②その場で回答、③意見として伺う、④その他

■総務経済常任委員会

1 抽出 事務事業

(1) 地域資源を活用した観光の振興

■ サイクルツーリズム

- ・[上小中] いまは嵐山周辺がメインになっているが、今後他の地域にも広げていく考えはあるのか。
→②その場で回答 （回答）他の地域も広げて検討していくことになっている
- ・[上小中] サイクルツーリズムに関わっているが、コースとなっている地域住民の理解も必要だと思う。もっとみんなが関わるようにしたらよいと思う。→①委員会に報告

■ 新嵐山荘・スカイパーク

- ・[芽中] 木製展望タワーが老朽化していて危険を感じる。今後の改修予定はあるのか。
→②その場で回答 （回答）第5期総計において新嵐山スカイパークの基本方針が示された。「芽室町の個性を体感できる場づくり」をコンセプトに施設整備を行う。
- ・[芽中] スキー場リフトも老朽化しており心配である。
→②その場で回答 （回答）リフト更新には多額の費用が必要で課題である。現在は点検をしっかりと行い、運行に支障がないようにメンテナンスしている。
- ・[芽中] 新嵐山にカブトムシを取りに行くが、街灯が明るくなり、カブトムシがいなくなったように感じる。
→②その場で回答 （回答）LEDに変更したためかもしれない。意見は町に伝える。
- ・[上小中] 何度も行きたくなる施設整備等をしてほしい（浴室トイレが離れすぎている。コース料理もっと売りにできるものを）。
- ・[上小中] 赤ちゃんを連れて行った人を見たが、床でおむつ交換をしていた。ベビーベッドなどの設置が必要では。
→①委員会に報告
- ・[西中] 自然に恵まれた誇れる場所だと思います。一帯に建物な

どを建設するのではなく自然な空間を最大限活用することが良いのではないか。

- ・[西中] 以前は家族で楽しめた場所だった。(今は楽しめない)
- ・[西中] イベントを開催するには今のままでも最適な場所です。
- ・[西中] 自然環境を利用したイベントが開催できないだろうか？
→③意見として聞き置く
- ・[南小] 景観は十勝を代表する宝物であるので、大切に生かしてほしい。
- ・[南小] スキー場をなくしてしまうと嵐山自体に人が来なくなる。町民がもっと利用しやすくするような呼びかけが必要では
- ・[南小] 近くにあることで子どもたちも気軽に行けるので、これからも続けてほしい。
- ・[南小] 年に1度のスキー学習は重要。
→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

■ 観光振興

- ・[上小中] そもそもなぜ町が観光をやらなければならないのか。ダメだとは思っていないが、目的をはっきりと明確にする必要があるのでは。→③意見として聞き置く

(2) 農村地域公共交通手段

■ 農村地域公共交通手段

- ・[上小中] タクシー代補助だけでなく、様々な方法を検討してもらいたい。
- ・[上小中] コミュニティもつくりながら対象を考えればいいのではないかと思った。
→①委員会に報告 →③意見として聞き置く
- ・[上小中] 近くに免許返納した80代の人がいるが、歩道を歩いたり、かえって危険な状況になっている。
→③意見として聞き置く
- ・[上小中] タクシーチケットは高齢者だけが対象なのか。知り合いの町では高校生に対して交通費助成している。ライドシェアも事故の問題など課題はあると思うけどいろいろ検討してほしい。
- ・[上小中] どの世代にもやさしい町となれば住みたい人も増えるのでは。

- ①委員会に報告 →③意見として聞き置く
- ・[上小中] 町には使えるお金はあるのか。あるのなら農村部の公共交通などしっかり予算をつけてほしい。
 - ②その場で回答 (回答) 決算、経常収支比率などすまいるに載っている情報を説明。
- ・[南小] 1 番いいのはじゃがバスのようなバスを走らせてもらうのがいいと思う。
- ・[南小] タクシーチケットを配布しても、町内のタクシー台数が少ないし、時間が重なると利用できなくなるのでは。
 - ①委員会に報告 →③意見として聞き置く

■ スクールバス

- ・[上小中] 大人が乗ってもいいのかよくわからない。バス停の名前も含めて検討してほしい (元太田商店前ではわかりにくい)。
 - ③意見として聞き置く
- ・[西中] 普段と違うコースに乗れる事をもっと周知すれば、子どもたちが塾などの用事がある時には自分たちで移動できるのではないか。
- ・[西中] 利用者数が少ない便の時間(部活バス)を見直せば、高校生が JR 駅から自分の家まで保護者の送迎が無くても帰宅できるなど、地域の公共交通の役目を果たす事ができるのではないか。
 - ③意見として聞き置く
- ・[南小] スクールバスは高校生でも乗れるのか。
- ・[南小] 帰りはあまり乗っていないように感じる。乗車率が低くもったいない。
- ・[南小] 中学校の部活の時間ではバスの時間と合わなく、結局迎えに行くことになる。
- ・[南小] 時間と方法 (曜日など) について、学校側と協議することを検討してほしい。
 - ①委員会に報告 →③意見として聞き置く

2 その他

■ 道路整備

- ・[芽中] 大成橋から東めむろにかけての歩道、街灯の整備 (この区間が暗いので) をお願いしたい。
 - ②その場で回答 (回答) ガードレールの設置、街頭設置は

十勝総合振興局建設管理部に毎年要望をあげている。

- ・[芽中] 東めむろのコンビニから東芽室南へ向かう道路の街頭が非常に暗い。

→④担当課に伝える。

■ 災害

- ・[芽中] 東胆振東部地震による停電で芽室町においても課題が残されたと思うが、どのような検証がされたのか。

→②その場で回答 （回答）11月9日開催の総務経済常任委員会において災害対応報告と課題への解決策が示された。停電については発電機購入で対応していく。

- ・[西小]（停電時の対応について）町の対応が遅いと思います。また避難場所での携帯電話充電場所が満杯でした。

→②その場で回答 （回答）本年9月のブラックアウトに対する町の対応についての検証作業が行われたこと。指摘された点については今後の課題となっていることを説明

- ・[西小] 街頭放送が聞き取りにくい。

→②その場で回答 （回答）対策の一つとして災害告知用個別端末（防災ラジオ）の設置について説明

■ 交通安全

- ・[芽中] 自転車は歩道を基本的に通ることはできないが、車道を走るとなると危険が伴う。歩道に自転車専用道を示すラインを引くなど対策は取れないのか。

→②その場で回答 （回答）芽室町の自転車道は中学校グラウンドからねずみトンネルまでの区間のみ。

※教頭から生徒への指導を説明

自転車道が確保されていない場合は歩道を通行することができる。しかし歩道は歩行者優先なので、事故があれば自転車の責任が問われる。生徒には注意して乗るように指導している。

- ・[西小] 車道を歩いたり、自転車のふらつき、冬期間も自転車に乗るなど、車を運転しながら高齢者に対し危険を感じる事が多い。高齢者対象の交通安全教室など、必要ではないか。

- ・[西小] 歩道や中央分離帯（道道東芽室4条帯広線）の舗装亀裂部分から雑草が生い茂り見通しが悪く景観上も良くないと思います。

→③意見として聞き置く

■ 地域おこし協力隊

- ・[芽中] 人口減少対策として地域おこし協力隊を積極的に活用すべきではないのか。

→③意見として聞き置く

- ・[上小中] 具体的に何人ですか。名前も教えてください。

→②その場で回答

- ・[上小中] そもそも地域おこし協力隊の仕組みが住民はわからないのでは。

- ・[上小中] 例えば上美生の住民に対して交通面で運転手になってくれる人やそれ以外の時間には高齢者宅を訪問して世話をするなど、トータルのにやってもらえるような人を地域おこし協力隊として雇うことはできないのでしょうか。

→②その場で回答 （回答）協力隊はそれぞれある目的果たすという役割があるので、何でもかんでもとなってしまうと目的外になってしまい、結果的に辞められる事例も他自治体ではあるようだと説明。他の参加者からも同様の発言あり。

■ ふるさと納税

- ・[芽中] 町の歳入を増やすという意味でふるさと納税にもっと力をいれてもよいのではないのか。

→③意見として聞き置く （回答）ふるさと納税は約1億円ある。ご提案は理解した。ご意見として受け止める。

■ 厚生文教常任委員会

1 抽出 事務事業

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

■ 医療体制

- ・[芽中] 産婦人科があることを理由に芽室町に移住された方もいる。今後も医師確保が課題であるが、医学部を目指す学生への奨学金制度も設け、将来医師となり芽室町に戻ってきてもらうような人材育成も必要ではないか。

→③意見として聞き置く

- ・[上小中] 新聞報道で産科が休止することを知ったが、病院は大

切な存在。何とか復活させてほしい。

→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

- ・[西中]「子育てにやさしい町芽室町」の根幹が公立芽室病院の産科だったと思っていたので、とても残念な知らせだった。「赤ちゃんにやさしい病院」の認定も受け、母乳育児サークル活動にも携わってきたので、やむを得ないとは言え非常に残念だ。
- ・[西中] 町外からもお産のニーズがあった。今後は里帰り出産など希望する人の負担が増えるのではないかな。市内への交通手段などに対しては妊婦さんへ何らかの支援が必要になるのではないかな。

→③意見として聞き置く

- ・[南小] 医師の確保の課題はあるが、実際、帯広よりも芽室の方が親身に対応してくれた実体験がある。近くにある心強さもあるので、復活も含めて検討してほしい。
- ・[南小] 救急があることで安心感がある。数年前に指を切った時もすぐに行けてすぐに縫合処置してくれた。
- ・[南小] 子どもたちも帯広まで行かなくてもいいので安心して住む。住民の命と健康を守っているのだから公的な支援があっても全然よく、そのために税金が使われるのは問題ない。

→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

- ・[西小] 産科が無くなるのは残念だし公立芽室病院の特徴として誇れる部分だったと思います。

→③意見として聞き置く

- ・[西小] とにかくいざという時のために公立病院は存続してほしい。(多数の意見)
- ・[西小] 子どもの容体が悪い時には迅速な検査ができる設備があるのは心強い。入院受け入れ体制にしても然り。
- ・[西小] 町民が積極的に病院を利用すべきだと思う。
- ・[西小] 町内に設備の整った病院は残って居てほしい。

→③意見として聞き置く

■ 医師・スタッフ

- ・[芽小] 看護師が不足しているように感じる。看護師の入れ替わりが多い。夜間の対応が心配。看護師の仕事は大変と考えるので働き方改革が必要と思う。

→②その場で回答 (回答) 病院の厳しい経営状況を改善する

ため、改革プランに取り組んでいる事を説明。議会は常に状況を確認し、3月の新年度予算審査に向けて調査を進めている。

- ・[西中] 若い、志のある医師が定着してくれるための取り組みが必要だ。

→③意見として聞き置く

- ・[西小] 医師がなかなか定着しない理由はなぜですか？
- ・[西小] 医師不足は帯広市内の大規模病院でも同じ現状がある。
→②その場で回答（回答）慢性的な医師不足や医局との関係、医師個人の都合など様々な事情があることを説明。

■ 送迎

- ・[西小] 民間クリニックのように公立病院でも農村地域に送迎バスを出すなどすれば、外来患者数増加につながるのではないかな。

→③意見として聞き置く

- ・[西小] 高齢な患者さんに対するサービス（送迎など）がなく他の病院に行ってしまうのではないかと思います。
- ・[西小] 通院の足の確保
→③意見として聞き置く

■ 利用者サービス

- ・[西小] 民間クリニックのようにネットで予約できる仕組みがあると家事や仕事との時間のやりくりがしやすい。
- ・[西小] 休診日がある事に不便を感じている。土曜日の診察も可能になればもっと利用しやすい(平日は仕事があるため連れて行けない)
- ・[西小] 受付や待合所でサポートしてくれる人がいると分からない事があっても安心して通院できる

→③意見として聞き置く

■ 広報

- ・[西小] 現病院の魅力がわからない。病院の特徴などをもっと積極的に PR すると来院する患者さんも増えると思います。

→③意見として聞き置く

(2) 高齢者福祉の充実

(3) スポーツのしやすい環境づくり

■ 施設整備

- ・[南小] 大会が重なると駐車場が足りなくなっている。プールの建設と合わせて駐車場の確保も一緒に考えるべきでは。
- ・[南小] プールの跡地利用も含めて周辺一帯の整備計画を考えるべきでは。
- ・[南小] 他自治体では運動施設は十分なスペースをとって計画整備している。芽室町は残念な感じがする。
- ・[南小] 将来性を考えれば子どもが少なくなるのはあるが、学校から通えて大人も使えるスポーツができる場所やビジョンが芽室町には必要では。
- ・[南小] 以前のそよ風トークで第2球場について意見を聞かれ、大会の運営に支障もでているので何とかしてほしいと散々要望してきた。議会にも伝わっていないようなので非常に残念だし、やった意味がなかったのではと感じた。
→①委員会に報告 →③意見として聞き置く
- ・[南小] 河川敷の野球場を再整備する方針はないのか。
→②その場で回答 (回答) 現在のところ予定していない。
- ・[南小] 健康プラザについて、冬期間、野球少年団で使用しているが、天井のネットを何とかして整備してほしい。
→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

■ プール

- ・[芽小] プールを新設するおり、アイススケート場十勝オーバルにあるように屋内に走路があると良い。
→③意見として聞き置く
- ・[西小] 以前芽室中学校のそばにプールがあった時は授業で行っていた。現在は冬季のスポーツ(アイスホッケーやフィギュアスケート)に置き換えている。現在地付近での建て替えでは授業での利用は出来ないままとなる。
→③意見として聞き置く
- ・[上小中] 上美生の子どもたちがスポーツをしようと思うと市街地まで行く足の確保が必要になる。どこに住んでいても子どもたちが自主的に動けるようなシステムを検討してほしい。

- ①委員会に報告 →③意見として聞き置く
- ・[南小] 図面を見たが観覧席がなくなっていて狭いのでは。
- ・[南小] トレーニングルームについては集約して整備したほうがいいのでは。
 - ①委員会に報告 →③意見として聞き置く
- ・[西小] 水温が低く室内が寒い。
 - ②その場で回答（回答）温水プールの改築計画と概要を説明

■ 総合体育館

- ・[西小] 体育館 2 階への階段が急すぎると思います。けが人が出た時の搬送が大変であり救急隊員も苦勞していました。また階段を利用できない方々は競技の観戦や応援が出来ません。何らかの対応が必要だと思います。→③意見として聞き置く

(4) 学校教育の充実

■ クラス編成

（議員から PTA への問いかけ）35 人学級編成はどう受け止めていますか。

- ・[芽小] 先生方が子ども達に細かな目配りが今以上に出来るようになった。
- ・[芽小] 子ども達の出番が多くなってきた。自己表現の機会がある。大変良いことです。
- ・[芽小] 教室の空きが無くなったことで自教室以外での行動する場が無い。子ども達の居場所があると良い。

■ インターネット環境整備

- ・[西中] 光回線を期待しているが、まずは現状の改善策を教育委員会に要望している(教頭より)。
 - ②その場で回答（学校で対応済み）

■ 生活習慣

- ・[南小] 現在 4 年生を対象に生活習慣病検査をしているが 10 歳くらいでどの程度の効果があるのか。ご飯を食わずに登校して採血して、泣く子どももいるので現場での大変さもある。今後検討してほしい。
 - ①委員会に報告 →③意見として聞き置く

■ コミュニティスクール

- ・[上小中] ここ数年、時数との関係から年々行事も減り、地域との関わりも薄れているように感じている。地域との関わりの中で学ぶことも多いと思う。非常に残念でさみしいがどう捉えているのか。
→②その場で回答 （回答）→先生方が子どもたちと触れ合える時間を作らなければいけない。地域との触れ合い、先生との触れ合いの時間がなかなか取れていないということは発信していかなければならないと考えている。
- ・[南小] 先生の働き方と子どもの少年団活動では、指導者の育成と支えていくための仕組みが必要ではないか。
→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

■ 施設環境・安全対策

- ・[芽小] 東めむろの児童のために交通事故防止の観点からガードレールの設置を願いたい。さらに除雪によって歩道が狭くなっていることもあるのできちんと除雪対策を願いたい。
→②その場で回答 （回答）毎年陳情をあげているが、要望があることは受け止める。
- ・[芽小] 東 10 条 7 丁目でもガードレールが破損している。修繕願いたい。
- ・[芽小] 横断歩道に凸凹がある。改善補修願いたい。
→④現地を確認して担当課に伝える。
- ・[芽小] どんぐり山の側に農園があるが機能しているとは思えない。周りの木々が大きくなって日陰の場所が多い。ビニールハウスがあるがこれもビニールが老化しており用を達していない。改善する必要がある。
→②その場で回答 （回答）農場を教育活動にどのように位置づけるかは、学校長が判断することである。その上で必要であれば学校として教育委員会に要望をすべきです。
※上記の回答に対し、学校長からは、「保護者の意見と同様の考え方を持っている。学校としても教育委員会に要望していきたい。」
- ・[芽小] グランドの水はけが年々悪くなっているので改修を願いたい。
→③意見として聞き置く

- ・[芽中] 児童生徒の熱中対策として、全国の公立小中学校に冷房設備設置を支援するとの記事を目にした。芽室町ではどうなっているのか？
- ・[芽中] 教室に扇風機があるが、熱中対策になっていない。改善してほしい。
→②その場で回答 （回答）国会では来年度予算を審議しており、文部科学省は概算要求を出しているが、決定の情報はない。今後も注視していく。現在の熱中対策は十分ではないことは理解するが、町単費で対応するのは厳しく、ご理解頂きたい。
- ・[西中] デザイン重視の校舎のため、階段が多く内部が複雑でけが人などが出た際の緊急事態には不便がある。現在はエレベーター設置を教育委員会に要望中(教頭より)
→②その場で回答（学校で対応済み）
- ・[西中] 子どもが使える公衆電話に不具合があるため改善してほしい(保護者から教頭に対しての要望)
→②その場で回答（学校で把握済み）
- ・[西小] 児童玄関前の通路が急勾配なため毎年転倒する児童がおり負傷しています。教育委員会にも報告してあります。滑り止めなどの工夫を要望します。(手すりや融雪マットの設置など)
→①委員会に報告

■ 通学路

- ・[芽小] 南町の通学路が薄暗い。安全のため街灯を増やすなどして改善を願いたい。
→②その場で回答 （回答）南町町内会が要請書を町にあげている。
- ・[西小] 西 3 条踏切近辺の事故が多い。朝の混雑する通勤時間帯は中学生の登校時間も重なり危険に感じる。交通指導員を置けないだろうか。
- ・[西小] 先日の降雪時には歩道の除雪が完了していなかった（西子どもセンター付近）。今後は迅速な対応を願う。
→③意見として聞き置く

■ 学習環境・学校配置計画

- ・[芽小] 外国人の居住者が芽室も増えてきている。英語、外国語

を話せる環境づくりが必要と思う。

→③意見として聞き置く

- ・[上小中] 中学校では今年から修学旅行が東京になったが、人数が少ないため、旅行代や現地での拝観料（団体割引が適用されない）などで、他の学校よりも割高になっている現状。教育の機会均等とともに金銭的にも平等にしたい。

→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

- ・[西中] 西地区だけではなく、芽室町全体が少子化に移行するのだから、長期的な視点で学校の再配置について計画を練るべき。
(理由)

- ・短期間の計画で学校区を変更してしまっては今通っている子どもたちがかわいそう。子どもたちは現在の学校でなんら不便や不満を感じていないのではないかな。子どもの声も聴くべき。
- ・自分は西地区の学校に通わせたくて現在の住所を選択した。将来校区の変更予定があるのであれば、対象となる子どもたちが赤ちゃんのうちから住民への周知を行うべきだと思う。
- ・[西中] 西中学校の生徒数は今後減少をたどる。
- ・[西中] 芽中との生徒数は今後格差が広がる
- ・[西中] 将来は1校でも良いのではないかな。
- ・[西中] 将来統合の場合は現在地以外での新校舎建設で対応するのが望ましい（できれば現校舎の中間で）。
- ・[西中] どちらかの学校に移行統合しても問題が生じる。
- ・[西中] 少人数の影響でやりたい部活動に参加できないのは可哀そう。町内の中学校が合同チームを作る等の配慮はこれからますます必要になると思う。子どもが好きなスポーツを継続できるようになると良い。

→③意見として聞き置く（31 年度以降の芽室町立小中学校配置計画が示されたことも説明させていただきました）

- ・[西小] 近年の気象状況では、子どもたちに暑さに対する我慢を強いるのに限界を感じている。子どもたちにも快適な学習環境を整えるべきではないかな（教員より）

→③意見として聞き置く

(5) 生涯学習の推進

(6) 安心して産み育てることができる子育て支援

■ 子ども医療費

- ・[芽小] 医療費助成の対象が拡大されたことは大変ありがたい。
併せてインフルエンザ予防接種は助成対象にならないのか。
→②その場で回答 (回答) 現在は中3、高3のみが半額助成している。
- ・[芽小] 医療費助成の事務手続きは簡素化されるのでしょうか。
→②その場で回答 (回答) 窓口負担はなくなる。
- ・[芽小] 医療費助成には受給者証が必要。受給者証がないと助成が受けられないので、そのことを保護者に解かりやすく伝えてほしい。
→④担当課に伝える。
- ・[芽中] 平成31年度から医療費無料となるが、何月からか。
→②その場で回答 (回答) 平成31年4月1日から
- ・[上小中] 所得制限がなくなったり、窓口での現金支払いがなくなるのは住民にとってありがたい。町内だけではなく町外の病院にかかったときも窓口負担がないようにしてほしい。
→①委員会に報告 →③意見として聞き置く

2 その他

■ 予防接種

- ・[西小] 高齢者への助成措置同様に子供達へのインフルエンザ予防接種の助成対象を広げて頂きたい多子世帯の負担は大きいです。
→③意見として聞き置く

■ 議会運営

■ フォーラム

- ・[芽小] 未来フォーラムのパンフレットを読んだ。高校生の意見考え方を聞くことに大変興味深い。芽室在住の生徒だけに聞くのではなく、対象を広げると良いと思う。
→③意見として聞き置く

■ 議会だより

- ・[上小中] 議会だよりはフェイスブックなどがあるのでなくても

いい。

- [上小中] 広報の仕方は複数あったほうがよい。紙じゃないとダメな人もいると思う。
- [上小中] 発信のツールや方法については今の時代に合わせたものにしてほしい。
→②その場で回答 （回答）ホームページ、フェイスブック、ライン、ツイッターなどで発信していること説明。

■ 意見交換

- [上小中] こういう場に来れている人はある程度理解することができるが、そうではない人は自分から情報を探しに行かなければならない。来れない人や関われない人の意見をどう汲み取っていくのかが大事だと思う。→③意見として聞き置く
- [西中] 高校生との意見交換会を行っているが中学生との意見交換会の予定は？
→②その場で回答 （回答）今後の課題として捉えています。

■団体との意見交換会

7 公立芽室病院をみんなで支える会と厚生文教常任委員会との意見交換会

日 時：	平成 30 年 11 月 16 日（金）18:00～19:30
場 所：	めむろ一ど 2 階セミナー室
出席者数：	16 人
テ ー マ：	公立芽室病院の現状と課題について

【会の皆さんからの質問と意見交換概要】

- ・病院も経営努力に努めており、そうしたことも町民に伝えてほしい。
- ・質の良いドクターを招いてほしい
- ・町民に誤解のないように病院の現状を伝えほしい
- ・議会は委員会調査やモニター会議等で町民の意見を聞くなど努力していることは理解する。しかし、ほんとうに病院を存続させようとする気があるのか、具体的な取り組みが町民にはみえない。
- ・議会はもっと積極的に病院問題に関わってほしい

（回答）議会がやるべきこと、病院がやるべきことの区別は必要であるが、議会の取り組みが町民に伝わっていないことは理解した。公立芽室病院の経営と地域医療の確保については委員会の抽出事業であり、今後は 2 年間調査してきたことをまとめる作業に入る時期である。

頂いたご意見も含め、これまでの調査を総合的に検証し委員会報告をまとめていきたい。



（総務経済常任委員会 所管事項報告）

総務経済常任委員会では平成 30 年度は昨年度に引き続き「地域資源を活かした観光振興」「農村地域における公共交通手段」を政策形成サイクル抽出事業としました。

調査にあたっては先進地事務調査や 町内小・中学校 PTA との意見交換会議会モニター会議など町民から頂いた多くの意見を参考にしました。また委員会調査の他にミーティングを複数回行い、意見交換、論点・争点のブラッシュアップを行いました。

平成 30 年度政策サイクル抽出事業の取り組みにおける総括を以下の通り報告いたします。

1. 地域資源を活かした観光振興

<調査経過>

平成 30 年 5 月 18 日 第 2 回総務経済常任委員会
平成 30 年 5 月 29 日 第 3 回総務経済常任委員会
平成 30 年 6 月 15 日 第 7 回総務経済常任委員会
平成 30 年 8 月 8 日 第 1 回モニター会議
平成 30 年 10 月 24 日 第 14 回総務経済常任委員会
平成 30 年 11 月 8 日～12 月 11 日 町内 6 PTA との意見交換会
平成 30 年 12 月 13 日 第 2 回モニター会議

町民との意見交換会では、町が観光振興を進める目的を明確にする必要性や、新嵐山スカイパーク一帯の自然を活かし町民が愛着を持ち誇れる場所にしたいという意見がありました。

また議会モニター会議では、「芽室の観光資源すなわち嵐山という固定概念にとらわれ、その他の観光資源が見落とされているのではないか」、「かつてのような集客が見込めるイベントを継続する必要があるが今はそれが出来ない」、「冬期間以外にも子どもと遊びに行きたいがどの様に楽しめばよいかわからない。情報発信が足りていない」など、多様な視点から本町の観光振興策に対する意見をいただきました。

これらを踏まえた議員間討議においては「町は第 5 期総合計画において『新嵐山スカイパーク基本方針』を示したが、芽室町の観光資源は新嵐山スカイパークのみならず多くの資源を有することについて着目する議論がありました。

現在取り組んでいる就労キャリア教育観光事業、サイクルツーリズム、芽

室遺産の活用など本町独自の体験プログラムや、本町と他地域とをつなぐ道東自動車道を活用した観光振興など、個別の施策・事業を体系化した観光振興計画が必要である」「十勝全体で取り組む観光政策の中で本町が果たす役割について他町村と連携をとりながら本町が目指すべき方向を明確にする必要がある」など、本町の地域資源を活用した観光振興策を推進するにあたり、既存のコンテンツを体系づけるためのコンセプトがないことへの指摘がありました。

3年目を迎えるサイクルツーリズム事業や、現在行われている地域おこし協力隊雇用による観光振興、民間活力を活かした国民宿舎等指定管理者の選考に関するサウンディング調査等の経過を注視するとともに、今後も本町の地域資源を活かした観光振興の活性化実現に向け、町民の声に寄り添いながら引き続き所管委員会での調査継続が必要であることを確認しました。

2. 農村地域公共交通手段

<調査経過>

平成30年7月11日～12日 先進地事務調査

平成30年8月8日 第1回モニター会議

平成30年11月8日～12月11日 町内6PTAとの意見交換会

平成30年11月9日 第15回総務経済常任委員会

平成30年12月13日 第2回モニター会議

7月11日～12日の2日間にわたり道北の天塩町と中頓別町を訪問し、両町で実施されているライドシェア事業について事業実施に至った背景やその経緯について調査を行いました。

様々な主体による移動手段を確立し地域住民のモビリティ（移動の利便性）を保障する重要性や、将来、確実に訪れる人口減少・超高齢社会に備えるには地域内の未開発資源を有効活用する「シェリングエコノミー」の概念が重要であることを確認することが出来ました。

町民との意見交換会では、町が事業実施対象予定としている高齢者の移動手段確保策以外に、中高生を持つ保護者や、高齢者の支援を行っている家族からも農村地域における公共交通手段についてのニーズがあるとの意見が寄せられました。

先進地事務調査から得られた新たな概念や、これらの意見を踏まえた議員間討議においては、「農村地域での公共交通手段へのニーズは、町が支援対象としている運転免許証を返納した高齢者だけではなく学生も含めた自力での移動困難な交通弱者すべてにある」、「しかしながら、喫緊の課題解決策とし

て町が推進しようとしている農村地域在住の高齢者の移動手段確立に向け迅速な事業実施を求めていくことが重要である」、「町民から更なる有効活用法の可能性があると意見を受けたスクールバスの利活用法など、既存の交通資源について研究・検討を継続していく必要がある」について確認しました。

以上、平成 30 年度総務経済常任委員会の総括として報告いたします。

（厚生文教常任委員会 所管事項総括報告）

本委員会は平成 29 年 6 月 12 日の委員会において、6 項目の抽出事業を決定しました。これまで調査を行ってきましたが、調査の概要、総括を以下のとおり取りまとめます。

1. 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

①所管委員会としての取り組み

当委員会では、公立芽室病院（以下病院）の四半期ごとの経営状況を調査するとともに勉強会を開催し、安定的な医療体制の維持を求めてきました。

内科医師の不足による患者数の減少、収益の低下、運転資金の不足、借入金の増加など病院経営はかつてない厳しさに置かれています。内科医師不足は入院・外来の患者数にも影響を及ぼし、病床稼働率も 3 年連続で 70 % を大きく下回りました。病床数は 150 床から 107 床に削減、歯科廃止や産婦人科の休診など診療科目も縮小しており、病院を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を鑑み、平成 30 年度は抽出事業 6 項目のうち病院をもっとも重要なテーマと位置づけ町民（議会モニター）と議論を重ねてきました。「病院を支える会」との意見交換会も実施し、議会に対して率直なご意見を頂きました。

②病院に対する町の対応の変化

平成 30 年 12 月議会初日、病院事業会計への繰出金およそ 1 億円の補正予算が提案されました。内容は平成 30 年 8 月に改訂された病院改革プランにもとづく「周産期医療に要する経費」と資本的収益の「企業債償還金」への繰出です。繰出金は採算性を求めることが困難な部門への経費と経営基盤強化対策に要する経費であり、総務省の基準に基づき負担するものです。

繰出金の考え方についての質疑では、町は「今回の繰出金で赤字等が解消するとは考えていない」「新年度予算前までに新たな繰出金基準の考え方を整理する」「病院改革プランのさらなる改訂も必要となる」と今後の町の対応を答弁しました。町の方針の変更は病院経営に直結することから時期を逸することなく対応し、議論することが求められています。

③ 2 年間の調査から抽出事業の総括へ

平成 30 年 12 月 10 日に開催したミーティングでは今年度の抽出事業の総括について協議をおこないました。病院について各委員の意見は以下のとおり

です。

- ・病院は町民生活に不可欠であり、コスト論だけでは考えられない。繰出金は全議員で「どのようなルールにもとづいて支出するのか」確認すべきだ。
- ・病院には今後も地域医療の拠点として役割を果たしてもらいたい。
- ・病院経営を支えるためにも一般会計からの財政支援は必要である。議会は議決機関であり、財政支援の内容について十分な議論をする必要がある。
- ・病院の現状や必要性を病院みずから積極的に発信すべきだ。
- ・町も議会も病院問題に必死に取り組んでいることを町民に見える化する。
- ・医師確保は最大の課題である。
- ・経営改善のため一般会計からの繰出は必要だ。そのための繰出基準を定めることや診療科目など再改訂改革プランについて町と議論を深めたい。
- ・議会の取組みを町民に知らせる必要がある。
- ・再改訂改革プランの調査は必要である。

これらの意見を踏まえ協議を行い、以下の2点を総括とします。

- ◆ 病院は町民への情報提供を徹底し、理解と協力を求める努力を行うこと
- ◆ 病院に対する財政支援は、困難な局面を乗り切るためには必要であるが、繰出基準の考え方、診療科目などを含む再改訂の病院改革プランについて十分に議論を行うこと

④全議員で病院経営の健全化に向き合う

言うまでもなく公立芽室病院は、町民の健康と命を支えてきました。今後も地域医療の中核施設として役割を果たすことが求められており、安定した医療サービスを提供していくためには病院経営の立て直しは喫緊の課題です。

委員からは「病院経営の立て直しは、全議員で共通認識のもと議論を深めたい」「病院が抱える課題はすぐに解決できることではないが、今後も継続して議会が病院問題に向き合っていくための方向性を確立したい」「町の方針が大きく変わった。これを契機に全議員で病院問題に取り組む必要がある」などの意見が出されました。

さらに協議を重ね、①議員全員で繰出基準の考え方を含む病院改革プランの調査を行うこと、②共通認識をもって病院経営の健全化に向き合い、平成31年度予算の議決に臨んでいくことを委員の総意とすることを確認し、総括

に追加します。

抽出事業「公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展」総括

1. 病院は町民への情報提供を徹底し、理解と協力を求める努力を行うこと
2. 病院に対する財政支援は、困難な局面を乗り切るためには必要であるが、繰出基準の考え方、診療科目などを含む再改訂の病院改革プランについて十分に議論を行うこと
3. 病院事業会計への繰出基準の考え方を含む病院改革プランは全議員で調査を行うこと

2. 高齢者福祉の充実

高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できることを目標に平成 29 年度、「第 7 期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」が策定されました。

高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できる適切なサービスの提供が求められています。そのためにも、介護職員の待遇改善と介護サービスの質と量の充実が課題です。平成 30 年度、福祉人材育成を目的として、介護職員初任者研修・有資格者向研修・生活援助従事者研修が実施されました。参加者 10 名のうち 5 名が新規就労を希望しています。

高齢者の福祉の充実には、高齢者の方の社会参加の推進が必要です。「来なくなるような、楽しいことをセット」し人が集まる場所の環境整備が重要です。

3. スポーツしやすい環境づくり

温水プールは平成 2 年の開設以来 28 年が経過し、経年劣化などにより施設設備の老朽化が著しく、暖房能力、断熱不足による内部結露の発生など、抜本的な施設改修の時期を迎えています。担当課より、基本構想策定スケジュール、2 案の建設候補予定地、施設及び機能の説明、温水プールに関するアンケート調査結果等の報告がありました。年内に基本構想案を整理し、事業手法が決定されます。

温水プールを含む、周辺の社会体育施設のあり方や施設の複合化など今後、課題を整理しなくてはなりません。

また、スポーツ振興において、芽室町と芽室町教育委員会は平成 30 年 8 月、北海道十勝スカイアース（株）と包括的連携協定を締結しました。10 月

1日より、北海道十勝スカイアースから職員1名を地域おこし協力隊として採用しました。子どものサッカー教室や大人や子どもを含めた健康づくりに関する講演会の企画などを行っています。相互に協力しながら、スポーツを通じた魅力あるまちづくりの実現を目指す方針です。

4. 学校教育の充実

芽室町立小中学校配置計画は平成30年度までの計画であり、今年度、平成31年度から35年度までの配置計画が策定されます。今後の児童生徒数の推移予測、未就学児童保護者アンケートの実施、各学校PTAとの意見交換会の実施、学校教育推進協議会に配置計画案を諮問し策定されます。内容については、現在の配置計画と変更はありません。

奨学金制度、子どもの安全確保、部活動については各委員が質疑や一般質問を行いました。少子化の影響と教育環境の今後のあり方、部活動の運営の適正化、教員の多忙化解消対策は教育委員会の方針並びに今後の対応について調査し課題を整理しなくてはなりません。また、コミュニティ・スクール導入については教育委員会、学校、地域が十分な共通認識に立って事業が進められていることが重要であり、引き続き調査が必要です。

子どもたちが一日の大半を過ごす「学習・生活の場」である学校、教育環境整備は大変重要です。先生方と子どもたちが向き合える時間を確保するためにも、少人数学級編成が望まれます。現在、第1学年は国の教職員定数法で、第2学年については、北海道の少人数学級実践研究事業により35人学級が編成されています。芽室町では、個に応じたきめ細やかな指導の推進のため、平成27年度より小学校に、町独自の事業として教育活動指導助手を第3学年および第4学年に配置しました。さらに、平成30年度から第5学年および第6学年にも拡大し、すべての学年において少人数学級編成を実現しています。今後も、少人数学級編成の継続が望まれますが、合わせて、国に対して教職員定数改善を求めていく必要があります。

5. 生涯学習の推進

年代を問わず、生涯を通じて学べることができる学習の機会、場の提供が求められています。また、何よりも町民自らが主体的に学ぶ意識の醸成が重要です。「社会教育推進中期計画」にもとづく社会教育施策の推進が求められます。

6. 安心して生み育てることができる子育て支援

子どもの居場所づくり事業については、委員会として8項目の論点を整理

し、これをもとに調査をしました。貧困を含む様々な課題を抱える子どもたちが地域や大人とのつながりを持ち、課題を早期に発見し対応していくため平成 30 年 1 月から事業が始まりました。

多くの議論を経てスタートした事業ですが、今後も課題を整理し事業として継続していく必要があります。

また、発達支援事業やその他子育て支援事業についても調査を行い、子どもや保護者への支援の質の充実を求めました。

子どもの貧困対策は事業として取り組みが始まったばかりです。今後は対象者へ支援が届いているか、不足している支援はないか、支援の質の充実が重要となります。障がい児政策は地域支援に重点をおく事業のあり方や障がい児の相談事業への民間委託など障がい児政策の転換期にあたることから

「第 1 期障がい児福祉計画」や平成 30 年度に策定される「芽室町発達支援計画」を調査しました。

子どもの医療費助成は、平成 28 年度から中学生までを助成対象とし、通院にかかる医療費は市町村民税非課税世帯に限定、入院については全世帯が助成対象となっています。一般質問の答弁から、平成 31 年度から所得制限は撤廃され、中学生まで完全無料化となり、また、これまでは窓口で支払いをした後、町に還付請求をしなければなりませんでした。今後はその場で助成を受けられるようになり、申請手続きは不要となる予定となりました。

■高校生との意見交換会

1 芽室高校 新聞局・生徒会

日 時：	平成 30 年 12 月 19 日（水）16:00～18:00
場 所：	芽室高校 3 階第 2 講義室
出席者数：	19 人（生徒）
出席議員：	全議員



【目的】

災害対応を「自分ごと」と考えて、参加者みんなで様々な意見や考えを言い合って共有してみましょう。

【課題】

1. あなたはペットがいる町民（市民）です。大きな地震災害のため、避難所に避難しなければなりません。しかし家族同然の飼い犬「コロ（ポメラニアン 13 歳）」がいます。あなたは一緒に避難所に連れていきますか？
2. あなたは避難者です。地震で自宅は大きく壊れ、家族そろって避難所へ行きますが、日ごろの備えから「非常持出袋」には水も食料も 3 日分あります。でも、避難所には水も食料も持たない家族が多数います。行政の対応は遅れ、どうなるか分かりません。そんな中で、あなたは非常持出袋を開けますか？
3. 地震の影響で、地域一帯が大停電になっています。テレビが見られないので、スマホを使ったネット情報が頼りですが、「自衛隊の方からの情報ですーもうじき断水するそうです」など怪しい情報も多く見られます。正確な情報を入手するため、あなたならどうしますか？

【課題 1】

①「YES」－避難所に連れていく

- ・ ペットは**家族同然**だから
- ・ ペットは**家族同然**。連れて行けないのなら自分も避難しない
- ・ **家族同然**だから
- ・ **家族同然**の飼い犬を置いていくのは、ひどいと思う。
- ・ 飼っていないからよくわからないけど、**家族同然**に接している人もいるし、その人の気持ちがわかる。また、家に置いておいて誰がえさをあげるの？と思う。
- ・ 自分の都合で家族に迎えた**命**だからちゃんと責任をもって守りたい
- ・ 飼ったからには**命**に責任があると思うから
- ・ **命**があるので置いて行けない
- ・ 亡くなるくらいなら連れていく

②「NO」－避難所に連れて行かない

- ・ 騒音、食料（エサ）など、他の人の**迷惑**になるから
- ・ 他の人の**迷惑**になる（鳴き声、アレルギーなど）
- ・ **アレルギー**や他の人を噛んじゃうこともあるかも
- ・ 苦手な人や**アレルギー**の人がいるかもしれないから。
- ・ まずは安全に人だけでも
- ・ 他の人に**迷惑**を掛けないために
- ・ 物資など資源が足りなくなるため
- ・ 動物は生きる道を自分で知っている

▼どうしたら良いか

- ・ 広いスペースを犬の為に
とる
- ・ 犬専用の避難所を確保
- ・ 一時的に預かる
- ・ 人は感染症に掛らない様マスクを用意する
- ・ 自宅に戻ってエサをあげればいい



【課題 2】

① 「YES」－非常持出袋を開ける

- ・開けたとしても他の人にあげたい
- ・各家庭でそのために用意していたものだから
- ・人にあげるにしてもどちらにしても開ける
- ・1人でも多く助かるためには開ける
- ・家族のために開ける（子ども・高齢者）
- ・家族のためには開けるが自分は我慢するかもしれない
- ・開けてみんなとシェアする
 - 全員「開ける」を選択したが、開ける理由には様々な考え方がある
- ・家族を優先して必要なものは使う
- ・お年寄りや子供にも分け与える
- ・全員ではないが周りに分けてあげる
- ・皆で協力し、少しずつ分けるのが一番良い対応と思う。
- ・自分たちのために開ける。極端な話し、ほたるの墓じゃないけど、まず自分たちが生きることが大事だし、そのことに精一杯になると思う。
- ・まずは自分が生きていなきゃ。余ったら分ける

② 「NO」－非常持出袋を開けない

- ・奪い合いなどが起こる可能性がある
- ・周りの目が気になる　開くならこっそりと
- ・3日分しかないので、今すぐ開けるとすぐになくなってしまうから、もう少しギリギリまで開けない方がいいと思う。開けたあとは、みんなで分けられるだけ分けた方がいいと思う。

▼どうしたら良いか

- ・回りが冷静になってから開ける
- ・避難所がどの程度物資の用意ができているか情報をとる



【課題 3】

〔状況〕

- ・断水していた
- ・冷蔵庫のものを家族で食べた
- ・バイト先（焼肉屋）では無料で肉を配っていた
- ・アイスはすぐに食べた
- ・何が本当の情報かわからなかった
- ・通電した時の火災に備えてブレーカーをおとしていた
- ・実際に携帯が使えなくなった
- ・夜、星がきれいだった
- ・お父さんが帰ってくるまで、母、弟、私で川の字になって寝た。



〔実際に流れていたデマ〕

- ・何時間後に断水します
- ・携帯電話が使えなくなります

〔困ったこと〕

- ・スマホの充電→情報や友人とのコンタクトが取れない
- ・情報が入らずこの先どうして良いか判断できなかった
- ・燃料確保ができなかった（発電用）
- ・コンビニに行っても食べ物が無かった
- ・水が出なくて水洗トイレが使えなかった
- ・乾電池の予備が無かった

〔困らなかったこと〕

- ・お婆ちゃんが「人間は米と味噌（と卵？）があれば生きていける」と言ってくれたので慌てずに家にある食べ物を工夫して過ごせた
- ・学校のHPや、部活のラインで休校などの情報は得られた
- ・信頼できる官公庁のSNSから情報を得たので先の見通しを持てた
- ・星空がすごくて、これを見られるならまた停電でも良いかもとちょっと思った

▼どうしたら良いか

- ・ ラジオからの情報を信ずる
- ・ 放送局はデマ情報をながせない
- ・ 自衛隊のホームページから情報を得る
- ・ 近所の人とも情報の共有をする
- ・ できるだけ多くの媒体を使い情報を集める。そこで何が正確かを判断する
- ・ スマホを使って、自分の知り合いに連絡をとってたくさんの情報を集める。家の近くの人にも聞いてまわる。
- ・ 車などのラジオで情報を入手したり、近所の人とも話をすることが大切と思った。
- ・ 公式な情報を確認する。(HP, ラジオなど)
- ・ 中学校で作った手回しラジオがとても役に立った。

今回学んだこと・感じたこと

○災害への備え

- ・ 備蓄品の準備
- ・ ラジオの準備（停電時にも使える）
- ・ 非常食の大切さをあらためて感じた
- ・ いつ起こるかわからないから備えが大事
- ・ 家具の向きを考えるようになった
- ・ 電池の用意をしておく
- ・ モバイルバッテリーを充電しておくことが大切だと思っ
- ・ 懐中電灯がたくさんあるといい。ガスコンロも大事だと思った。とても役に立った。たまたまあった、ろうそくも使えた。
- ・ 常備してあるもの物をすぐに取り出せる位置に置いておくことの重要性を学んだ。
- ・ ペットボトルにライトをあてたらさらに明るくなることを知った
- ・ ガスが使えたので、鍋でごはんが炊けた。お風呂はガスでお湯を沸かしてお風呂の水を割って入った。



○防災意識

- ・ 一番いい判断を臨機応変にする
- ・ 振動などに敏感になるようになった
- ・ 非常時には冷静になる
- ・ 何時でもしっかりしないといけないと思う
- ・ 停電していろいろ学べた。
- ・ おじいちゃんが、人間はみそと米と卵があれば生きていけるって言っていた。

○情報リテラシー

- ・ 正しい情報を読み取る力をつける
- ・ 安易にSNS情報に惑わされない

○地域とのコミュニケーション

- ・ ネットが使えなくなった時には、近所の人同士の助け合いが大切
- ・ 不安な気もちも誰かと話をするだけで解消され安心感を持てる
- ・ 周りとの情報の共有が必要だ
- ・ 周りの人のことも考えてみる
- ・ 近所の人とももっと情報を共有しようと思う
- ・ コミュニケーションを大切にする

▼今回の地震のあとに買ったもの、用意したもの

- ・ 電池式のストーブ
- ・ 懐中電灯
- ・ 懐中電灯をぶら下げておいてすぐに使えるようにした

▼また起こったら

- ・ すぐにラジオをつける
- ・ 地元ラジオ局の信頼がある（いつも聞いているから）

2 白樺学園高校 1 年（白樺学園高等学校と芽室町議会の包括連携協定事業）

日 時：	平成 31 年 2 月 6 日（水）・7 日（木）12:40～15:30
場 所：	白樺学園高校 1 年 A・B・C・D 組 各教室
出席者数：	A 組 26 人、B 組 28 人、C 組 38 人、D 組 37 人
出席議員：	全議員

※白樺学園高校 1 年の現代社会（公民科）の授業の一環として行う「グループディスカッション」に議会として参加しました。

授業のテーマ：ごみ処理場をどこに建設するか？

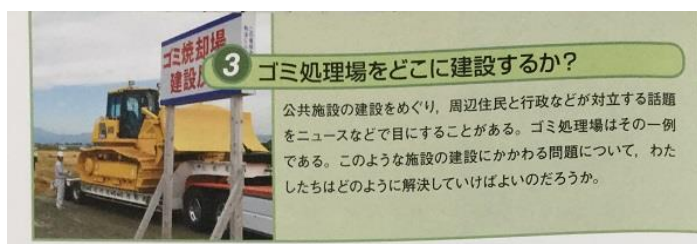
【目的】

○身近な課題を通じて、生徒に地域社会の一員としての自覚を持たせ、広い視野・観点に立って様々な問題の解決をしていくプロセスを学ぶ。

（写真：東京書籍 現代社会 第3部「ともに生きる社会をめざして」P196）

○芽室町議会議員との交流を通じ、異世代とのコミュニケーション能力の資質を深める。

○「若い世代の考えを政策に反映させ」「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとする。



【課題と内容】

学校のとなりに、巨大なごみ処理場が建設されることになったらどうするか？

- ①ごみ処理場の建設という課題から、生活する上で起こるさまざまな問題に対して、どのような視点で解決を図ろうとするのかを考察する。
- ②話し合いの中で出てくる多様な意見を、どのように集約していくのかを考えて、問題を解決するプロセスを学ぶ。
- ③実際に様々な問題を取り上げている議会議員の立場から、経験を踏まえて生徒にアドバイスを送り、考える選択肢を広げさせる。

1 調べたこと（ごみ処理場「くりりんセンター」について。メリット、デメリット等）をもとに、賛成派・反対派 それぞれの立場に立って意見を述べてみよう！

■賛成派

- 技術の進歩がある
 - ・焼却温度が800度～900度で、悪臭・ダイオキシンなどの有害物質の発生を抑えている。
 - ・3R（リユース・リデュース・リサイクル）により廃棄物の排出量削減に取り組んでいる。
 - ・匂いはあまり気にならないし、環境基準も大丈夫。

- 必要性はあるよね
 - ・ゴミを処理する施設は必要。
 - ・とにかく必要な施設なので学校に近くてもしょうがない。
 - ・焼却処理で、埋め立てるゴミの量が減る。

- 立地面で考えてみると
 - ・学校の近所にごみ処理場があると捨てるのに便利。
 - ・人が少ないところに作るのは良い。
 - ・近い場所に建設すれば経費が削減。
 - ・文化祭などで出る大量のごみをすぐに出せる。

- 経済面ではどうかな
 - ・近隣町村のゴミの受け入れによって収益を得る。
 - ・補助金がもらえて、町が豊かになる。→他の事業にお金を回せる。
 - ・廃棄物が減ると経済的にメリットがある。

- 何かに活用できるものはあるかな
 - ・焼却灰を活用して新素材の技術開発が進んでいる。
 - ・燃焼によって熱エネルギーが発生しエネルギーの再利用ができる。
 - 花を作り、地域の産業にする。
 - ・災害時、避難所として使える。



■反対派

●環境・健康へ影響あるでしょ

- ・CO₂排出による大気汚染・地球温暖化が心配。
- ・生態系など環境の変化が起こる。
- ・学校近くにあるのは子どもたちにとって良くない。成長過程の子どもに良くない。
- ・悪臭・騒音・有害物質等（ダイオキシンなど）の発生がある。
- ・ごみ運搬トラックによる騒音や搬入トラックの排ガス問題。
- ・野外運動部に影響ある。



●経済面での影響は？

- ・人が嫌がる施設を造るとイメージが悪くなり、土地の価格が下がる。
- ・町に若者がいなくなり高齢者しか残らなくなる。
- ・芽室町の予算は100億円。ごみ処理場を191億円かけて建設するのは無理である。

●通学や交通安全面に心配があるよね

- ・搬送車による交通量が増加し通学・下校時に不安がある。
- ・ゴミを運ぶトラックが、学校のそばを走るのは、危険性が高くなる。
- ・搬入車の騒音発生。
- ・近隣道路の渋滞。

●場所に問題はないのかな

- ・ゴミ処理施設の分散により（処理の）効率が下がる。
- ・必要性は認めるけど学校の傍や住宅地には作らない方が良い。
- ・施設の火災なども心配になる。

ディスカッションしてみよう！

- 2 こんなメリットがあるから賛成！
こんなデメリットがあるから反対！**
- 3 じゃあ、どうする？**

• ゴミを運ぶのに税金を使わなければならないので住宅地の近くにあった方がよい。

• 自然を守るためにも山には作れない。

• 仮に活断層上に建設となるとコストが上がるのではないかな。

• 学校の近くにあると、騒音やにおいによる環境の悪化は心配。

• 効率よいゴミ処理技術が開発されており心配はない。どこに処理場を建設しても同じ。

• 今のクリリンセンターでもそれほど悪臭はないと思う。

• 人が住んでいないところに建設すれば。でもそういったところは自然が多く破壊する。

• 財政負担が芽室町だけではなく、国から出してもらえたら財政破たんはしないのでは。

• 3R（リユース、リデュース、リサイクル）する。

• 地価が下がれば土地が安く買えるメリットがある。

• 健康被害や衛生面を考えて作るべき。

• 環境汚染対策をしっかりすればよい。

• 学校など周辺にゴミが飛散し、迷惑のかからないしっかりした施設であれば良い。

• どこかに作らなくてはならない施設だし、なくてはならないものなら仕方ない。

4 芽室町議会の議員はどう考えたか？

○健康を害さないような工夫はできないのだろうか。

○賛成グループは先進事例などを調べ、事実確認ができているが、地域住民が感じる NIMBY を解消できるほどか。

○「騒音や渋滞」は、搬入時間をずらすと解消されないか？

○住民が自分の意見と反対の結果が出たら、どう思う？ どうする？

○地域住民の理解をどうしたら得られるか？

○学校の近くではなく、遠い所だったらどうだろう？

○迷惑な施設を受け入れるための条件を示すことも大事。

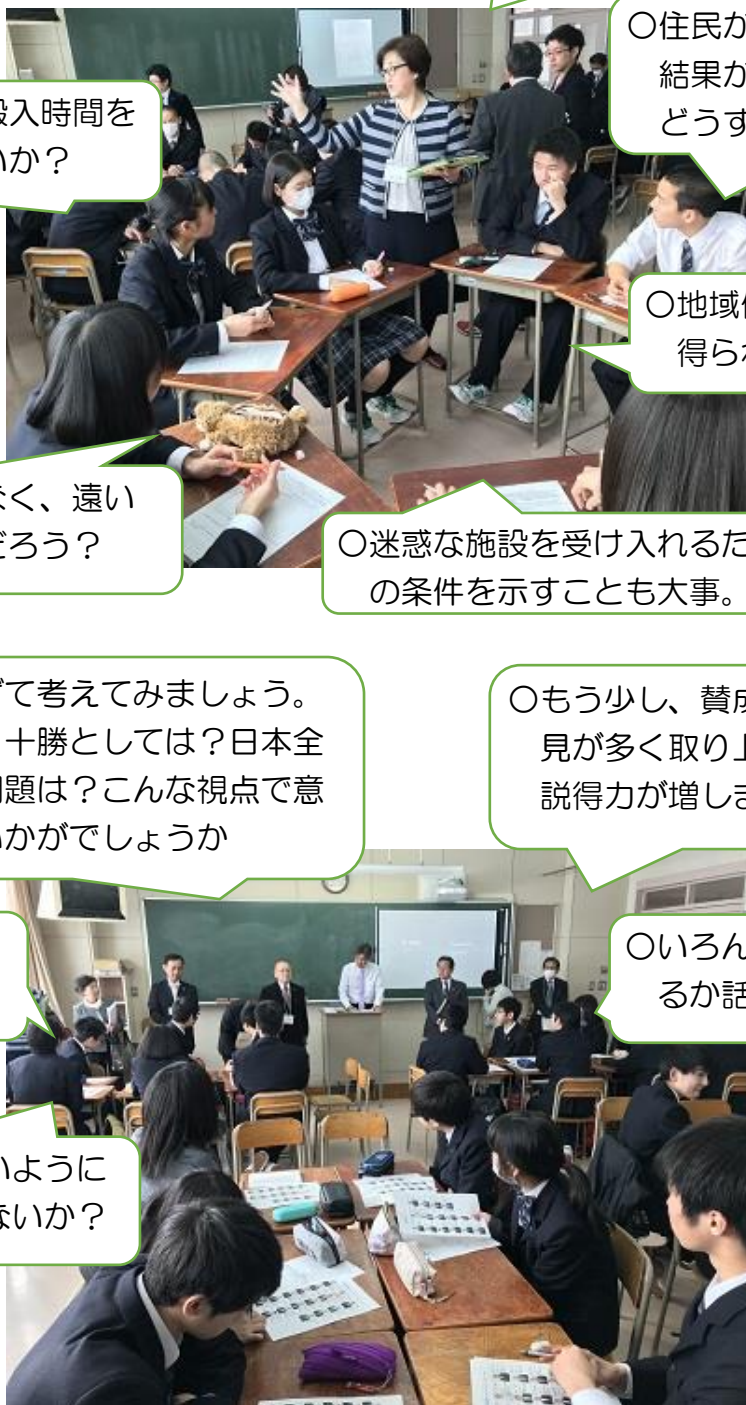
○もう少し地域を広げて考えてみましょう。芽室町にとっては？十勝としては？日本全体、地球温暖化の問題は？こんな視点で意見交換してみてもいいかな？

○もう少し、賛成・反対の意見が多く取り上げたほうが説得力が増しますね。

○現有施設の状況を知ることも大切。

○いろんな意見をどう解決するか話し合うことが大切。

○有害物質を排出しないようにするには何か対策はないか？



授業に参加して・・・議員が感じたこと

- 事前学習をそれぞれしっかり取り組んで今日を迎えたという印象。
- 自分の言葉で得た情報を処理して発言されていた。
- お互いに相手の主張にもう少し意見を言い合うとよりよい結果が生まれると思う。
- 事前学習で理解が深まっているので、その後の議論も活発だった。
- それぞれの役割をきちんとなしていた。
- もう少し相手の主張を覆すような議論が出来ると良い。
- 焼却による健康被害については、燃焼技術も進み、ダイオキシンも分解できる技術が確立されてきているなど、双方が沢山エビデンス（科学的な証拠）を集められると良い。
- 賛成、反対双方が良い議論を進めると、新しい考え方が生まれるかもしれない。
- くりりんセンターの特徴をしっかり調査されている。
- 生活者としてゴミ問題等を含めた課題に目を向け当事者意識を持つことが大切。
- 最初の意見交換の時は反対派の騒音問題、環境問題に押され気味の賛成派だったが、地域の活性化に繋がること、学校へのメリットを強調することで、意見交換に自信をもって話していました。
- 一つのテーマを、近くから遠くから、右から左から、上から下から、色々な角度から考えることが、大切である。人の意見を聴く事も、大切である。
- 賛成派・反対派による討論が無く一方通行の意見が多かった。
- 少し物足りなさを感じた。議員2名がいたからかもしれない。
- 大きな社会問題、それぞれの意見を聞きしっかりと議論していた。
- メリットに本当に問題はないのか。デメリットをこう解決できたらどうだろうという議論を深めてほしい。
- 集積場と処理場の区別が混同しているのかも。

■議会発！未来フォーラムⅣ

日 時：	平成 31 年 2 月 2 日（土）14:00～17:00
場 所：	芽室町中央公民館 2 階講堂
出席者数：	66 人
テ ー マ：	「世代を超えた想いをまちづくりに」
対話のセッション：	
ホスト：	(社)サステナビリティ・ダイアログ 代表理事 牧原ゆりえ氏
ストーリーテラー：	
	Thinkyo・Hokkaido 共同代表・超学校祭プロデューサー 山本愛優美氏（帯広市）
	「なまら食堂」代表 鈴木友里氏（札幌市）
協力：	ファシリテーション・グラフィッカー 小柳明子氏（山口県）

平成 28 年 3 月開催の『未来フォーラム』以降、芽室町議会は、食・経済・子どもの未来、地域における社会教育の必要性、そして次世代を担う若者に地元社会に対する当事者意識の早期形成の意義について、町民の皆さんに問いかけ、ともに考えてきました。

今回の「未来フォーラムⅣ」では、地元・十勝で、学校という「垣根」を超えて、地域の課題解決に取り組む活動実践例からの学びを題材に、対話と共有を通じて、前回フォーラムで芽生えた「地元社会に対する当事者意識」をさらに大きく広く育むことを目的に開催しました。



今回のフォーラムは、会場全体を「対話の場」として、参加者全員によるセッションを中心に構成しました。

全体のホスト役として、これまでサステナビリティ（持続可能性）、ダイアログ（対話）をコンセプトとした多くのワークショップを行ってきている、(社)サステナビリティ・ダイアログ代表の牧原ゆりえに進行を担っていただきました。

（牧原ゆりえ氏）

参加者どうしの対話のきっかけを提案する「ストーリーテラー」としては、昨年、帯広市内中心部で、学校の垣根を超えて帯広の高校生が学校祭を開くイベント「超学校祭」を主宰した山本愛優美氏、



(鈴木友里氏)

急きょ札幌から参加をいただいた、学生若者有志で運営する子ども食堂である「なまら食堂」代表の鈴木友里氏をお招きし、お二人の活動、背景や思いを語っていただきました。

(山本愛優美氏)



また意見交換においてありがちな「何を話し合ったのか記憶に残らない」「何がポイントだったのかよく分からない」という問題解消のために、ファシリテーション・グラフィッカーの小柳明子氏のご協力をいただいたことも大変に心強いものでした。



(小柳明子氏)

フォーラムは、議会運営委員長から「芽室町議会の活動報告」として、4回目となる今回のフォーラム開催に至るまでの経過について報告したあと、牧原氏の進行により「ストーリーから対話で学ぶ」セッションに入りました。

セッション「ストーリーから対話で学ぶ」

- (1)趣旨説明「なぜ今ストーリーからみんなで学ぶのか」
- (2)手法（コレクティブ・ストーリー・ハーベスティング(CSH)）って？
- (3)ストーリーを聞く「問い」とは？
- (4)「問い」を選び、チームに分かれ、相談しよう
- (5)ストーリーを聞こう！　【山本愛優美さん・鈴木友里さん】
- (6)発表内容を考えるために、チームで対話しよう
- (7)チームごとに発表しよう
- (8)ストーリーテラーから一言
- (9)この話し合いの立会人から一言
- (10)全体を振り返ってみよう
- (11)「生まれ育ったまちを住み続けたいまちにするために今みんなで学んだことはなんだろうか」

の進行により「ストーリーから対話で学ぶ」セッションに入りました。

まず、今なぜ対話の場が必要なのか、フォーラム開催に繋がる背景、趣旨から、アイスブレイクを通じて「言葉だけで伝える難しさ」と「共通言語を持たない相手に対してたくさん話すこと」の重要性について共通理解を促しました。



次に「問いをもってストーリーを聴く」として、参加者が一定の「問い＝視点」を意識してストーリーテラーのお話を聴くため、9つの「問い」を自ら選択しグループに分かれ、「なぜこの問いなのか」グループ内で想いを共有。

とい

このストーリーの中に、自然の美しさや営みに通じる点があると感じたことがありましたか。
もしあったとしたら、それはどんなことでしたか。

このストーリーに、大きな転換点がありましたか。
もしあったとしたら、そこにどんな学びがありましたか。

このストーリーに、力や勇気を与えたものを何か感じましたか。
もしあったとしたら、それはどんなことでしたか。

このストーリーに、何かリーダーシップの形が見えましたか。
もし見た場合、それはどこでどんな形をしていましたか。もしそれに名前をつけるとしたら、どんな名前をつけますか。

このストーリーの中に、普段の自分の学び方と違う学び方を見つけましたか。
もしあったとしたら、それは何でしたか。

このストーリーを貫く前提条件や当たり前のこととして見過ごされていることで、印象に残ったものは何ですか。

このストーリーに課題や困難なことがありましたか。それはどんな風に克服されたり、解消されたり、消化されたりしましたか。

このストーリーに、大切なことがスケールアップしたり、スピードアップしていくためのヒントがありましたか。もしあったとしたら、それは何でしたか。

このストーリーを聞いて、日々の暮らしの中で自分でもやってみたいと思ったポイントは何でしたか。
それはなぜですか。

ストーリーを聴き終わった後には、選んだ問いに対して、ストーリーを聞いて、自分が何を感じたか？何を思ったか？グループ内でのディスカッションを通じ、ほかの人と話し、聴くことで、2度ストーリーを聴くことに繋がり、思いの多様性が広がります。



グループ内で語り合ったことは、他のグループに伝えたいポイントをまとめて発表し、会場全体で共有しました。



ここに、ストーリーテラー2人からのコメント、さらに、各グループには加わずに会場全体を俯瞰する視点からの気づきをコメントする「立会人（この日の参加者から1人選定）」から一言をいただきました。

（立会人を担っていただいた宮前耕史氏）
～北海道教育大学釧路校准教授



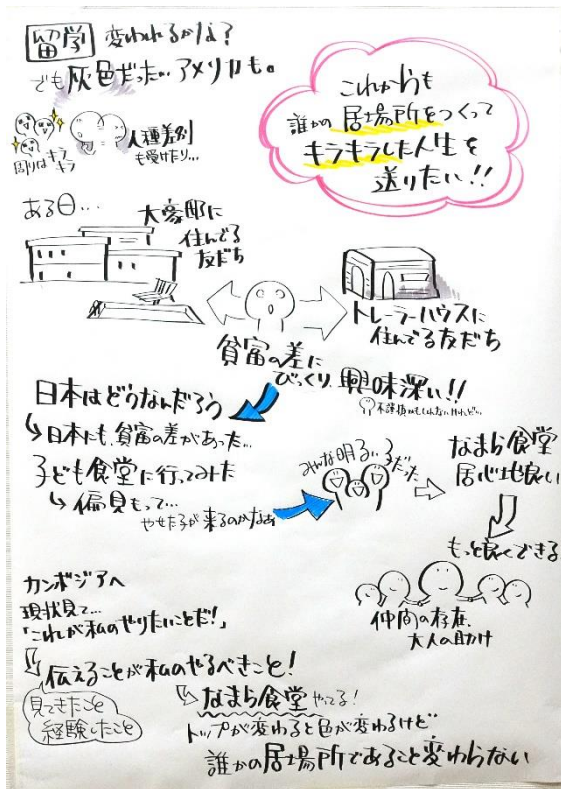
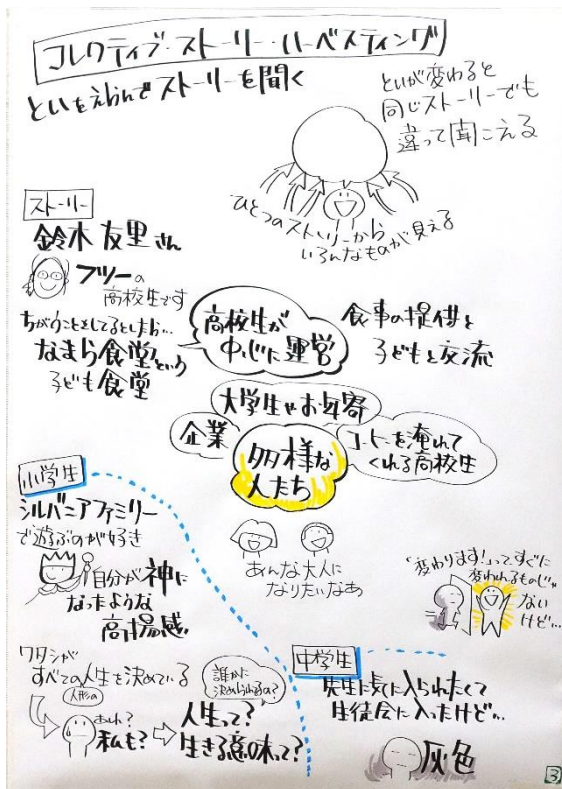
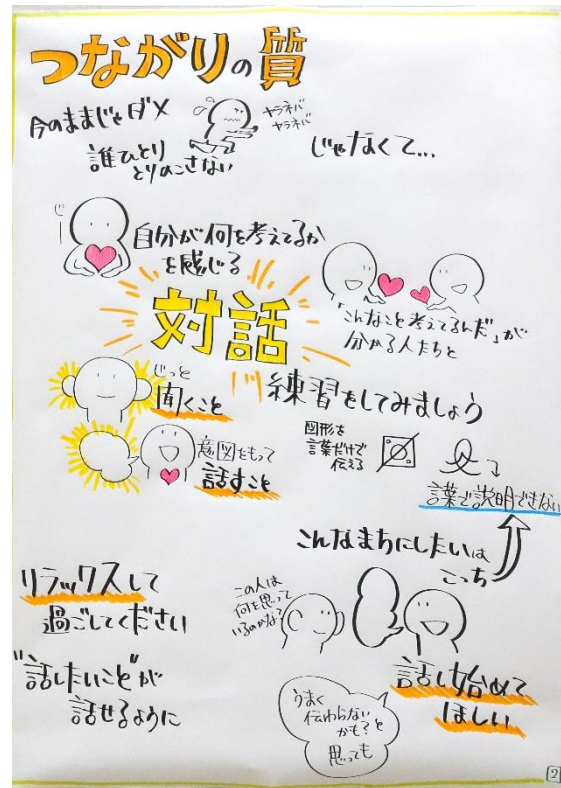
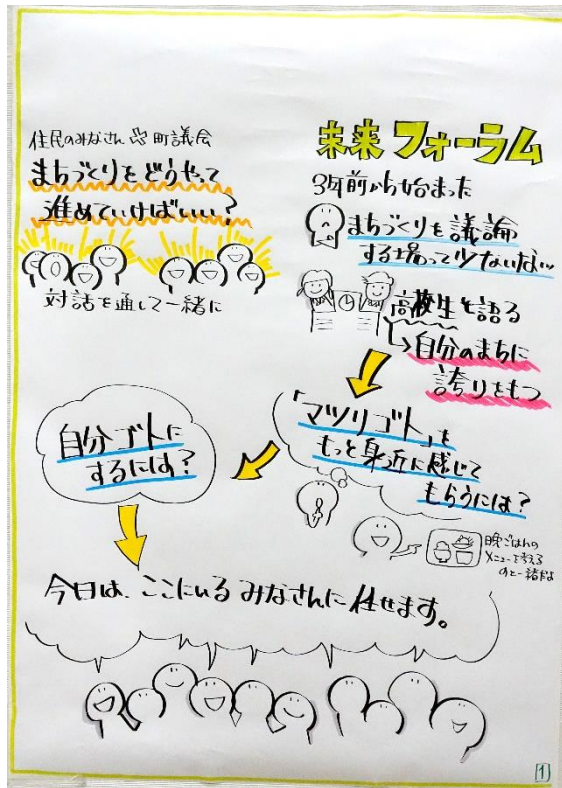
最後に、「生まれ育ったまちを住み続けたいまちにするために、今みんなで学んだことはなんだろうか」について、これまでの聴くことと対話を通しての気づきや感じた思いを語り合い共有してセッションを閉じました。



芽室町議会として、これまでの未来フォーラムを通じて「多様な世代が集い・対話し、まちづくりへ参加できる場づくり」の重要性を、多くの町民の意識醸成と課題共有をしてきました。今後は、議論・対話から「収穫」へとつなげていく実践の場として発展させていくのか、その仕組みづくりに向けて議論を進めていきます。



◆セッションのプロセス



ストーリー
山本愛優美さん
自分の興味あること
学校の外で活動してます

マンガ×アイデア
影響を受けてきた人生
CM 何のCMも作りたい!

マンガの主人公みたい
起業したい!

学校と家の往復の毎日
部活と生徒会

新しいコミュニティ
寂しい... 人に好まれるのが好きなのかな

リラスというコミュニティの中で
生きてきた

「コウコウセイ」
TK部と
超学校祭も...
いつかなくないやうもた
アイデンティティを
おいて...

ときめき
迷った北の道で
自分も助けてくれた
んだ!

思春期クライシス
私って何物? 誰?

ときめき、何? 何?
つまらない
大学進出に試み失敗
合宿するたびに
気づかされた、自分の
まず、自分の核になるもの
見極めないと
社会と、どう
つなげるか

Why? 5分
この10分間に感じることが
こんな場面で話せるかな? と思えば
(8) うれしくもなりました

叔母さん もいっしょにやろう
「ときめき」は持ち帰る
ほいほいと書いてきた
伝えたいかと思えば
今日から受けとることにした

三才工芸生 立会人 と
ストーリーを対話で学ぶ
どんなにやるか、全く知らずに来た
「問い」も思いつく
どうも思いつくかという問いから始まる
南は、態度は大切
一生懸命に問うと態度が自然に出てきた

何が始まるんだろう? と思えば
私には不安なことがあった
「委員会」は「何か」があるはず
どうあるべき? と思う
みんなの理解と協力が必要
学習する、X 行動する
車の両輪

すいごの問い
生まれる前から
住み続けるために
するために
今何を? 学ぶべきは何? 目的?
年齢向かい? No. ない
地域で学ぶ意義
経験

土曜もわざわざくらはなくとも
話す、聞くを続けてください **8分間**
聞くと理解を示す
待つとは信頼を示す

やりたいこと
やるための戦略
山本愛優美さん

何かをやりたい! と思えば、コソコソあれこれ思いつくのは、圧倒的に実現しにくい! だが!
「伝え方」「考え方」「ポイント」をまとめた

伝える時は
1 2 3
Why How What
3 2 1
考える時は

直感
でめき

自分の言葉
Whyの言語化

自分の心の奥底を
言葉にしよう!

WhatとHowはコソコソ思いつく

◆セッションから見た(聞こえた)意見

ストーリーも聞いてどきどきしたか？

汚れた大人たちが
高校生の話を聞くのは
いいんだ
「キラキラ」「ときめき」
たくさん聞かせてきた

困難もたくさん
内向き→
「知ってしまった責任」

大人と一緒だね
企画力もある
「孤独」と向き合う
まきこおカ

同じ高校生と思えない
思っている言っていない
知っている行動していない

まず気づきよう
思いを伝えよう
行動しよう
新しい反応を知ろう
仲間ができて

新鮮にうつた
「戦略も大事に、どう？」
気づき→これから期待

何食べて育ったのか？
こゝで……？存在意義は？
内省すべし
転換点、自分で見つけていく

2人とも、哲学的だね。
「自分の存在意義」
2人の共通点
自分も見つめ、
自分で解決策も見出す
すごい！

矢野からには伝説だね
なまら食堂
さいごまでやり通す
超学校票
人はひとりで生きていけない
周りも見据えて
やりとげてる。

「自分のやりたことに、共通点」
「社会の役に立つこと」
組織の中にいるとスライム
自分を見直すきっかけ
なりました

「トキ×キ」「きらきら」
好き興味あるところから始めよう
周りに助けられる人がいる

トキ×キ
きらきら
自分たち
もって生きていこう

若い人たち
こんなすばらしい話が
できるといいな
茅草町でも

「矢野、責任」

あの矢野さん
「責任は言うのだから」

矢野→行動する
のサイクル
まだまだやりようがある
あると思う

学校や授業をやりすぎる
ことではない

Will wish 大志
自分がどうしたいのか
人生について考えたしは
社会に求められていること

学び方は
情報・環境に
影響される
学び方は変わっている
対話の経験も
重ねていくこと

よくあなた
人前でもしゃべれるんだ。
何がしたいのか？
社会は何を求めている？
安心して
あの世へ旅立ます

「知ってしまった責任」
定まらないから
強い思いをもって
入るきっかけの能力
了々バンのような
リ・タ・シ・ン 70

「議会発！未来フォーラムⅣ」参加者アンケート集計結果

1 あなたのことを教えてください。

(1) 区分

●芽室町内在住の

- ☐ 議会議員・・・3 ☐ 行政職員・・・4
- ☐ 学生・中高生・・・1 ☐ 教育関係者・・・0
- ☐ 農林業・商工業関係者・・・6
- ☐ その他・・・10

●芽室町以外に在住の

- ☐ 議会議員・事務局職員・・・0 ☐ 行政職員・・・5
- ☐ 学生・中高・・・0 ☐ 教育関係者・・・0
- ☐ 農林業・商工業関係者・・・1
- ☐ その他・・・3

(2) 性別 ☐ 男性・・・22 ☐ 女性・・・12

(3) 年齢 ☐ 10代・・・1 ☐ 20代・・・5 ☐ 30代・・・2 ☐ 40代・・・8 ☐ 50代・・・4 ☐ 60代・・・6 ☐ 70歳以上・・・7

2 セッションの内容はいかがでしたか。

- ☐ 大変参考になった・・・23 ☐ 参考になった・・・3
- ☐ あまり参考にならなかった・・・0

3 全体をとおして感想をお聞かせください。

- ・同じ思いを持った人同士が繋がることの出来る場づくり、その重要性を感じました。(20代男性)
- ・今日のストーリーテラーのような話は家庭教育の分野の講演でも聞いてみたいです。(20代男性)
- ・すごくいい時間でした。また機会があれば参加したいです。(20代女性)
- ・最初是对話がメインという事で少し苦手な分野かなと思いましたがあっという間の楽しい時間でした。対話や聞くことの大切さを実感しました。

有難う御座います。(30代男性)

- ・聴くことの効果を実感出来ました。テーマを持って聴く。無く聴く。両方大切。地域づくりに活用したいです。(40代女性)
- ・沢山ありすぎて書ききれません。が、自分自身の考えや立ち振る舞いを見つめ直さなきゃと強く思いました。そのことが、自分の町の未来にどう成果となるのか、そもそもなるのかわからないけれど責任を持って生きていくことが大事だなと感じました。どうもありがとうございました。(40代男性)
- ・素直に伝えること、聴くこと改めて学びました。高校生2人のストーリーに感動しました。(40代女性)
- ・自分の町でもやってみました。行政区をこえて勉強させてもらえて良かったです。(30代男性)
- ・思ったこと感じたことを心に留めず言葉に出し行動に移すことで楽しくもなるし賛同者とも繋がりを持てるということを感じた。(10代男性)
- ・大変、有意義なひとときでした。と共に刺激を受けました。大人になっても大切なのは“トキメキ”“キラキラ”する感覚。そして思ったことを行動に移せる行動力！又、大切なことは「人と人との交流」ですね。やはり人は一人では生きていけない。人との交流によって元気や勇気を頂く。老若男女問わずときめいてキラキラしていける芽室町になってゆくことを切に願います。本日はありがとうございました。(40代女性)
- ・高校生の考え方を知る事が出来た。(70歳以上女性)
- ・2人の高校生の話し方に感心しました。(70歳以上女性)
- ・若い人のエネルギー(87歳男性)
- ・来年もよろしく(60代男性)
- ・一つのテーマで知らなかった人とも深い話、交流ができた。同グループ各一人の人生にも触れることができた。この空気の中で現実の課題も話したいものです「何かをつくる」ための話し合い、の前に互いを理解し合うことにつながる話し合いの場を積み重ねないと他を尊重できる話し合いにはならないでしょう。これだけの人が集まって芽室の未来を考えたいと思っているのを感じてうれしかった。(60代男性)
- ・伝えることの大切さ、そして話を聞く側の姿勢の大切さを学びました。(20代男性)
- ・考えていることを伝えるということの大切さを改めて認識しました。つい自分の考えてることなんて普通の特別じゃないことだと思ってしまったり、考えが足りてないと思われるかな・・・と不安になって言えなかったりするのですが、自分の経験は自分しかしていないもので、それだけでも

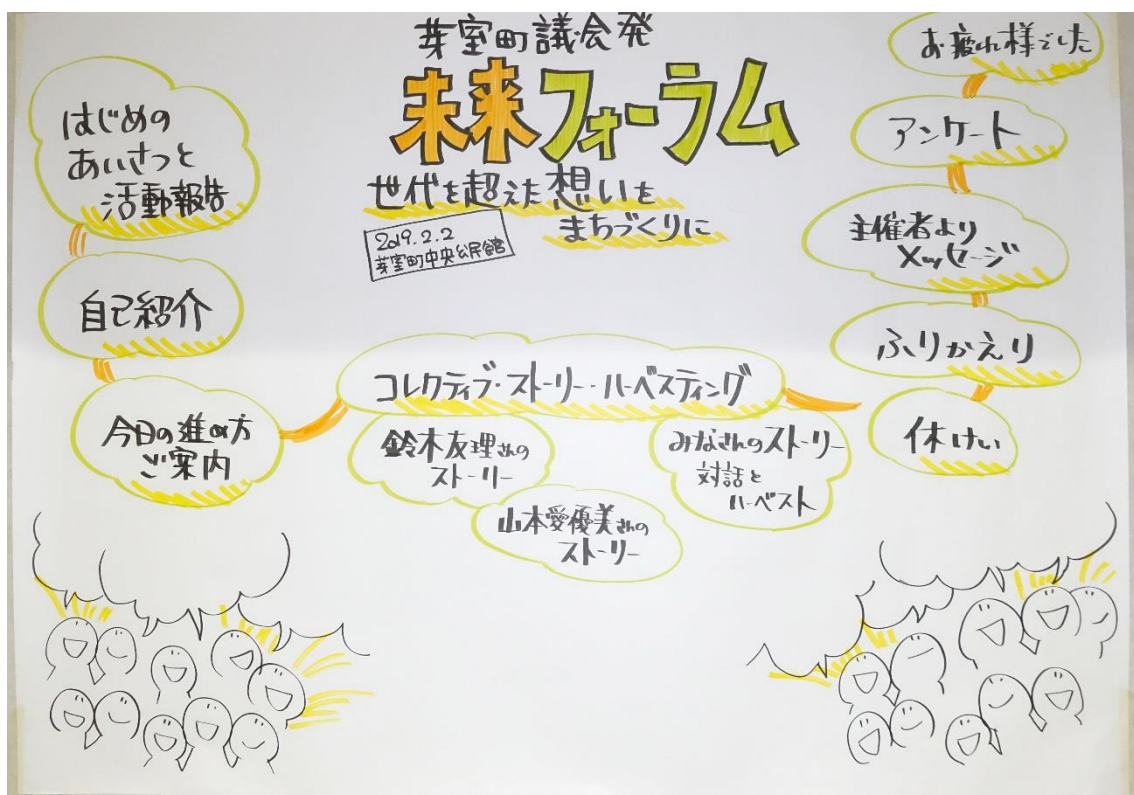
十分に特別で意味のあるもの、そして伝えるべきものなんだと思いました。

(20代女性)

- 2人の高校生の貴重なお話を聞けて大変良かったです。今後ともこのような地道な活動を続けてください。(40代男性)
- 来てよかった。素晴らしい企画有難う御座います。(40代男性)
- 高校生の参加が少ないのが残念でした。(60代男性)
- 高校生のお二人に感謝です。「ときめき」「キラキラ」という言葉に力をいただきました。(60代男性)
- テーマ「ストーリーが対話で学ぶ」
(2人の話しの内容自体もすばらしい研修)
(物の見方、話の聞き方の研修)
(ディスカッションの研修)

1つのテーマで色々な研修が出来るプログラムありがとうございました。

(60代男性)





北海道芽室町議会

082-8651

北海道河西郡芽室町東2条2丁目14番地

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel0155-62-9731 fax0155-62-9813